

ふしょうっこ日記

令和8年1月8日



後期後半の学習

一昨日から後期後半の学習が始まっています。本校は2学期制ですので始業式はなく、後期後半の開始日から学習を行っています。昨日は入学選考のため休みで、本日は後期後半の2日目の登校となりました。

1年生は生活科の「みんなのにこにこ大きくせん」で、1日の生活を時刻ごとに振り返っていました。「夜の8時半は、次の日の用意をしていないからお母さんに怒られてる時」と満面の笑みを浮かべながら話してくれる児童がいました。翌日の用意を巡って親子で温かいやりとりをされている様子が、その児童の笑顔から伝わってきました。



2年生は図画工作科の「はながのおはなし～わたしとすきなあそび～」で、「からだのふくわらいをつくろう」というめあてで学習していました。お正月を連想する「ふくわらい」を版画の学習に結びつけるところに、担当のセンスを感じました。子供たちは体のパーツをつくり、福笑いのようにパーツを動かして動きを作っていました。隣の学級では、算数科の「100cmをこえる長さ」の学習で、両手を広げた長さを正確に計る活動を行っていました。手を広げる人、紙テープで長さを合わせて切る人とグループで役割分担をして活動していました。持っている定規を全てつなぎ合わせて懸命に計る姿が見られました。どの学級でも学習に集中している様子が見られました。

